















































































トイレでこなかが(仮

うっ……うるさいわよ……/ やっぱりかわいいね~かがみは~♪」

トイレの個室から出てき こなたが 離が見て

付いたようだ。 良く有る光景。 毎日のように周りに見せつけているよ

「はい?」「ねぇ、かがみ キス、しょう

またすこい無茶振りね、とでもいいたげな顔でかがみは目を細め、 こな

り唇を奪いたくなってきちゃってさ~ なんがね、やっぱりかがみんは可愛いな~って思ってたらね、ちょっぴ一一体何を言いだすのよ、いきなり」

、はいような奴だけど、そんなどことご近付いて来て、下から目録で、そんがて秀暦気出せるほどのロマンチックキなんで、打っぽっちゃきに、キスななたの本気なのが冗談なのがわけりかねる言動はいつもの事だし、キスな たの本気なのが冗談なのがわけりかわなりでしましている。ここなたの大きVくりくりとした憧が、かがみだらっと見上げている。こ

顔がさらににゅーっと近付いて、瞳はじっとこっちを見つめている。らしい。二人分の洗面台の横幅なんてそんなに広くない。こなたの小さなドサッ、と背中に硬い感覚を感じた。どうやらもう壁まで追いつめられた 近いわよ、こなた……っ!

「いいじゃん、なつに言ってくる。 女同士なんだし……それに……今、 ここ誰もいないんだし

すこい至近距離でこなたと見つめ合っているようだ。ようだ、というか、 ええつ……1

「ほ、本気でキス……する、つもり……?」「ほ、本気でキス……する、つもり……?」 どきまきするかがみから、ゆっくりとこなたは身を難した。

かまだ残っている。 そつかあ 突然ひつ しんだこなたに不思議がるかがみ。 かがみは初めてだよね、キスト 制服にもご一人分の温かさ

るほどいつも強いの根隔だ。色みな機能が過ぎいて、かかみは、同と買っるほどはいうだ。いつもの 3世界本気になっちゃって、かと思えばっこい図里な事を言われた。それな一眼本気になっちゃって、かと思えばっこい図里な事を言われた。それないようになって、からないのは、問題あるよねネー!

「お〜♪やっぱりかがみはかわいいなぁ〜♪」言葉になって出てこない。 何か言いだしたいと思うが、 嗚咽のような音が漏れるばかりで、

赤に頬を染めてしまう。

見栄を張ってしまった。 3 私だってね・・・・」

わ、私だって、キスぐらいっ、しした事あるわよっっ」こうなったらもう勢いに任せるしかない。

なたの唇の柔らかい感触を感じてきて、温かい感じか伝わってきて――わせていた。明らかに動転気味で感覚が伝わって来なかったが、段々とこさらに勢いに任せてしまった。気付けば、なたの唇と自身の唇を重ね合

初めてのキスを、 身体を離す。 こなたにあげてしまった。

それも、

勢いで、こなたの

を思らしてみた。鏡に映った自分の顔は、「こ……これでいい……~!~」 っていた。 唇を奪うような感じで。 自分でもよくわがる程に赤くな何ともない素振りを努めつつ顔

「つ…何よ かかみ えーと・・・ 私七、 もつつ、 ファーストキスだったんだけど…… 元はといえば、 あんたから言い出した事なんだ

なたの言葉に少し油断してしまったしたせいで、少しこなたに顔を向けたそれは、悪かった……と、かがみは言葉を繋げる事はできなかった。こ それは、悪がった…… 今度は逆に唇を奪われた。

転ぶ様な感じで後ずさって、

硬い感覚もなく、 と唇が感じている。こなたとキスをしている。視覚も聴覚も壁の冷たく先程は勢いもついていたため十分に理解できながったものを、じわじ こなたの柔らかい唇から伝わって来る感触だけが、 またしても壁に背中を預ける様子となっ じわじ

の嚢倒、舌の根元といった、予想もつかない場所を弄くってきて、終く動いている。それはこなたの舌だった。熱くぬめったそれは、天社何が熱いものが口の中に入ってきた。そして、口の中で薬らかく、 に事のない電気の走るような刺激を感じてくる。

絡み合って、 船み合って、頭が次第に買っ白になって――となたの舌が自分の舌を痒んでいる。右へ、左へ、で、その舌が自分の舌を痒んでいる。右へ、左へ、とない、それは自分の舌と絡むようにして、楽! 4へ、文字通りおもちゃのようとうに動かしてきた。 それでもまだ舌が激しく

しそうなほど心臓が鳴っている。息も上がっている。身体もすこく火照っ、瞬間、全身の力が抜けて、ひさからがくりと崩れ落ちてしまった。爆発「―――はふっ……っ!!」

「あれぇ?やっぱりファーストキスだったんだ、「じょうだんじゃ、 ないわよ……こっちだって、 何つて・・・ディー なつ…なに、 すんのよ、いきなり……」 プキス こんなこと

さっきの

0

してたんだろう。10 秒?20秒?まだ治まりそうもないくらい動悸は激しの入れ方を主れ、士わられた所の無い場所を破のられた。とのくらいキスカリオスまでやってしまった。 キスク回目で大めのキスだ。すこく激しい舌もうどうでもよくなっていた。ファースとキスだころか、こなたとディーもつどうでもよくなっていた。ファースとキスだころか、こなたとディーキっとうできないなっていた。ファースとキスだころか、こなたとディー 回らない呂律で思わず口を滑らせてしまったが、 そんな事はかがみには









